

2025年度 神戸市立学校園教員採用選考試験
特別選考 「模擬授業」実施要領

神戸市教育委員会事務局
総務部教職員人事課

1. 模擬授業対象者 全受験者に対して、個人面接日に模擬授業を実施する。

2. 学習指導略案の作成と提出

(1) 様式 裏面の「様式例」に基づいて作成する。(★基本情報を含む)

(2) 選択教科等

選考区分	選択する教科等	指導略案
小学校教諭	小学校高学年（5・6年生）を対象とした授業とし、 教科は「国語」「算数」から選択して行う。	1 単位時間分 <u>A4版1枚</u> <u>(必ず片面のみ)に</u> <u>まとめる。</u> ※小学校選択の場合は、 45分設定 ※中・高校選択の場合は、 50分設定
中学校・ 高等学校教諭	「出願教科」	
特別支援学校教諭	特別支援学校における集団で行う授業を設定する。 志願している校種・教科に応じて、「教科等を合わせた指導」又は 「教科別、領域別の指導」を行う。	
養護教諭	小学生又は中学生を対象とした授業とし、学年設定は自由とする。 教育課程上の位置付けも考えて、単元や内容等を選択して行う。	
栄養教諭	小学生を対象とした授業とし、学年設定は自由とする。 教育課程上の位置付けも考えて、単元や内容等を選択して行う。	

(3) 略案提出 日 時：2024年12月9日(月)必着で下記提出先へ簡易書留で郵送すること。

提出先：〒650-0044 神戸市中央区東川崎町 1-3-3

神戸ハーバーランドセンタービル ハーバーセンター4階

神戸市教育委員会事務局 総務部教職員人事課 任用担当

期限までに提出がない受験者は、受験できません。

3. 模擬授業の実施

(1) 授業場面 受験者が作成した指導略案の中から、
当日面接官が指定する場面状況に応じて授業を行うものとする。

(2) 実際の時間 5分程度(説明1分・準備時間1分+実演・質問3分程度)

(3) 留意事項

- ① 面接室へ入室後、挨拶の後に実施する。
- ② 模擬授業中は、可能な限り黒板（またはホワイトボード）を使用すること。
・チョークは白・赤・黄、マーカーは黒・赤・青を準備予定
- ③ 授業開始の挨拶やプリント配付など、授業内容と直接関係ない行為はしない。
- ④ 教材教具の持ち込みは一切できない。
・教材教具が必要な場面では、それらが「あるもの」として授業を行う。
- ⑤ 教室に子供がいるものとして、発問や説明、指示、板書等を進める。

※面接官が子供（児童生徒）の役割を担う。

◆学習指導略案の様式例

(1)選考区分、教科、名前、学年、設定した単元の教科・領域等を**必ず記入**する。

(2)下記の指導略案は**様式例**であり、各項目等の設定は自由。用紙の両端は**1.5cmの余白**をとる。

(3)手書きでもパソコンでも可。モノクロ写真やイラストなど資料を縮小して貼り付けてもよい。

★基本情報							
受験番号		選考区分		教科			
小、中・高、特支(小)、特支(中高)、 養護、栄養のいずれかを記入。		面接日時		月	日	時	分
<p>第 学年 ○○科 学習指導略案</p> <p>1. 単元(題材)名 (全 時間)</p> <p>2. 単元(題材)目標</p> <p>3. 本時の学習 (/ 時間)</p> <p>① 目標</p> <p>② 過程(展開)</p>							
子供の活動と内容				教師の支援と留意点			
1.				<p>注) 実際に授業を行う場面は、当日面接官が指定する。(3分)</p> <p>※ 基本的には、子供の「活動」を教師はどう「支援」するのか、 また、実際に学ぶ「内容」に教師はどのように「留意」するのか、 という観点で作成する。但し、別項目を設定しても可。</p>			
2.							
3.							
4.				<p>ここでは「4分節」としているが、あくまでも例示であるため、変更してもよい。</p>			
<p>【評価規準】 本時の目標が、達成されたといえる 子供の学びの姿(学習状況)を記入する。</p> <p>注 分節ごとの評価ではなく、1単位時間 の評価規準として考える。評価の観点や 方法等の記載については自由。</p>				<p>【評価規準】</p>			

記入不要

★基本情報

受験番号

選考区分

教科

小、中・高、特支(小)、特支(中高)、
養護、栄養のいずれかを記入。

面接日時

月

日

時

分

記入不要

受験教科を記入。小学校、特支(小)、
養護、栄養は記入不要。

第 学年 ○○科 学習指導略案

1. 単元(題材)名

(全 時間)

2. 単元(題材)目標

3. 本時の学習 (/ 時間)

① 目標

教科でない場合は、別の表
記に変えること。

※様式例に沿って、A4版1枚(必ず片面)にまとめる。

② 過程(展開)

子供の活動と内容

教師の支援と留意点

1.

注) 実際に授業を行う場面は、当日面接官が指定する。(3分)

2.

※ 基本的には、子供の「活動」を教師はどう「支援」するのか、
また、実際に学ぶ「内容」に教師はどのように「留意」するのか、
という観点で作成する。但し、別項目を設定しても可。

3.

4.

ここでは「4分節」としているが、あくまでも例示であるため、変更してもよい。

【評価規準】

本時の目標が、達成されたといえる
子供の学びの姿(学習状況)を記入する。

注 分節ごとの評価ではなく、1単位時間
の評価規準として考える。評価の観点や
方法等の記載については自由。

【評価規準】

2024 年度 神戸市立学校園教員採用選考試験 特別選考
特別選考 「模擬保育」実施要領 (幼稚園教諭)

神戸市教育委員会事務局
総務部教職員人事課

1. 模擬保育対象者

幼稚園教諭区分の全受験者に対して、個人面接日に模擬保育を実施する。

2. 保育指導略案の作成と提出

(1) 様式 裏面の「様式例」に基づいて作成する。(★基本情報を含む)

(2) 選択教科等

選考区分	選択する保育内容 等	指導略案
幼稚園	保育室における保育を想定して行う。 ◆ 3歳児又は4歳児、5歳児から対象を選択し、 保育を設定する。 ◆ 幼稚園教育要領の位置付けも考えて、 活動内容を一つ選択して行う。	保育は20分の設定とする。 <u>A4版1枚(必ず片面のみ)</u> <u>にまとめる。</u>

(3) 略案提出 日 時:2024年12月9日(月)必着で下記提出先へ郵送(簡易書留)

提出先:〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-3-3

神戸ハーバーランドセンタービル ハーバーセンター4階

神戸市教育委員会事務局 総務部教職員人事課 任用担当

期限までに提出がない受験者は、受験できません。

3. 模擬保育の実施

(1) 授業場面 受験者が作成した指導略案の中から、
当日面接官が指定する場面状況に応じて授業を行うものとする。

(2) 実際の時間 5分程度(説明1分・準備時間1分+実演・質問3分程度)

(3) 留意事項

- ① 面接室へ入室後、挨拶の後に実施する。
- ② 保育開始の挨拶や教材の配付など、保育と直接関係ない行為はしない。
- ③ 教材教具の持ち込みは一切しない。
・教材教具が必要な場面では、それらが「あるもの」として保育を行う。
- ④ 保育室に子供がいるものとして、言葉かけや発問等を進める。

※面接官が子供(園児)の役割を担う。

◆保育指導略案の様式例

- (1) 名前、対象児年齢を**必ず記入**する。
- (2) 下記の指導略案は様式例であり、各項目等の設定は自由。用紙の両端は**1.5cmの余白**をとる。
- (3) 手書きでもパソコンでも可。モノクロ写真やイラストなど資料を縮小して貼り付けてもよい。

★基本情報				
受験番号			選考区分	幼稚園
名前	記入不要		面接日時	月 日 時 分

3歳児 保育指導略案

<時期> 11月

<ねらい>

・

<内容>

・

・

<展開>

4月、7月、12月・・・など、保育をする時期を想定する。

ねらいは1～2つ、内容は1～3つ程度記入する。

3、4、5歳児から、どの年齢を対象として保育をするのか想定する。

時刻	☆ 教師の援助 ○環境の構成	予想される幼児の活動
	<div style="border: 2px dashed gray; border-radius: 20px; padding: 20px;"> <p><u>注） 実際に保育を行う場面は、当日指定します。（3分）</u></p> <p>保育指導略案には、20分の活動内容で記入する。</p> <p>※活動内容は、「運動的な遊び」「音楽的な遊び」「造形遊び」「身体表現」等から、一つを選択する。（「絵本の読み聞かせ」は除く）</p> <p>※教師の援助や環境の構成によって幼児の活動がどう展開されていくのか、また、幼児の活動に対してどのような教師の援助や環境の再構成を行うのか、という観点で立案する。</p> </div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 20px; text-align: center;"> <p>※様式例に沿って、A4版1枚（必ず片面）でまとめる。</p> </div>	